

令和6年度

選挙管理委員会事務局の方針書

組織名	選挙管理委員会事務局
所属長名	武藤 学

1. 組織の使命(ありたい姿)

公職選挙法等の法令に基づき、選挙事務の管理執行を適正かつ円滑に行い、市民が投票しやすい環境づくりと選挙啓発を積極的に推進する。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ① 投開票における正確性の確保と開票作業の迅速化
- ② 地域の実情等を踏まえた投票環境の向上
- ③ 人口減少や施設老朽化等に対応するための投票区・投票所の適宜見直し
- ④ 若年層を中心に幅広い世代への選挙啓発

3. 今年度の『スローガン』

チーム力の向上を図り、選挙事務を確実に進めよう。

4. 今年度の方針

- ① 選挙事務の適正かつ円滑な管理執行
- ② 投票環境向上のための施策の実施と検討
- ③ 選挙啓発活動の推進

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	選挙事務の適正かつ円滑な管理執行
	取組内容	<ul style="list-style-type: none">・秋田県知事選挙(任期満了:令和7年4月19日)の適正な管理執行を行う・選挙事務に従事する職員の意識やスキルの向上に向けた取組を行う・突発的な選挙に対応できるよう予め準備事務を進める
(2)	実現したい成果	投票環境向上のための施策の実施と検討
	取組内容	<ul style="list-style-type: none">・移動期日前投票所の開設、バスタクシー券の配布などの投票機会確保のための施策を実施し、その結果の検証と改善を行う。・人口減少や施設老朽化等に対応するため、投票区や投票所の見直しの時期や内容を検討する。
(3)	実現したい成果	選挙啓発活動の推進
	取組内容	<ul style="list-style-type: none">・これまでの啓発活動を検証し、今年度の活動について計画し実施する・横手市教育委員会と連携し、3～5年後に選挙権を得る中学生に対する選挙啓発活動を実施し、中長期での投票率の向上を目指す

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- 重点取組項目(1)選挙事務の適正かつ円滑な管理執行
 - ・適正な選挙事務執行のため、新規採用職員へ選挙事務・開票事務の研修を実施(実施日5/29・対象職員12名)
 - ・解散総選挙が想定される衆議院議員選挙に向けた準備事務
- 重点取組項目(2)投票環境向上のための施策の実施と検討
 - ・投票区見直しの時期や内容を検討するため、有権者数・投票率・期日前投票での投票率等の推移を整理
 - ・障がい者や高齢者が、より投票しやすい環境となるよう投票支援カードとコミュニケーションボードを作成
- 重点取組項目(3)選挙啓発活動の推進
 - ・市内小中高校9校で実施予定の選挙啓発出前講座について、上期において山内小学校(実施日6/27・対象児童6年生11名)、増田高校(実施日9/27・対象生徒2年生100名)で実施
 - ・市内小中高校から明るい選挙啓発ポスターの作品を募集。54点の応募があり、明るい選挙推進協議会委員による一次審査を行い、県の二次審査へ30点を推薦

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- 重点取組項目(1)選挙事務の適正かつ円滑な管理執行
 - ・短期間での準備が必要となる衆議院議員総選挙並びに令和7年4月に予定されている県知事選挙に向けた着実な準備
- 重点取組項目(2)投票環境向上のための施策の実施と検討
 - ・移動期日前投票所の開設やバスタクシー券の配布など、今年度執行される選挙での利用状況を踏まえ、結果の検証と改善を検討
 - ・投票支援カードとコミュニケーションボードの周知による利用啓発
 - ・投票区見直し計画の策定準備
- 重点取組項目(3)選挙啓発活動の推進
 - ・若年層及び保護者や家族の意識向上に向けた市内小中学校における選挙啓発出前講座の継続実施
 - ・年代を問わず利用者が増加しているYouTubeを使った選挙啓発CM導入の検討

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- 重点取組項目(1)選挙事務の適正かつ円滑な管理執行
 - ・衆議院議員総選挙については、期日前投票並びに当日の投開票事務は適正かつ円滑に執行することができたものの、その後の報酬支払事務において源泉徴収税額の過徴収が発生した。今後は、事務全般について事務処理ルールの再確認と徹底により再発防止に努める。
 - ・新規採用職員に対し選挙事務並びに開票事務の研修を実施し、専門的知識の習得と実務能力を向上させることにより、選挙事務を適正かつ円滑に執行することができた。
 - ・令和7年4月6日執行予定の県知事選挙に向けて着実に準備業務を行った。
- 重点取組項目(2)投票環境向上のための施策の実施と検討
 - ・出張期日前投票所やバスタクシー割引券については、衆議院議員総選挙においても安定的に利用されており、今後も一層の利用者増に向け、実施内容の検証と改善の検討を継続する。
 - ・衆議院議員総選挙から導入を開始した投票支援カードとコミュニケーションボードについては、必要とする方の利用につなげられるよう機会をとらえ周知に努める。
 - ・人口減少や施設老朽化等に対応した投票区や投票所の見直しについては、令和8年以降の実施を見据え計画策定を進める。
- 重点取組項目(3)選挙啓発活動の推進
 - ・選挙啓発出前講座は、今年度が初めての開催となる小学校1校を含め市内小中高8校で実施することができた。低年齢のうちから選挙に対する関心をより高められるよう、それぞれの就学段階に応じた内容の検証と併せて講座の開催を継続する。
 - ・YouTubeを使った選挙啓発CMの導入について、令和7年執行予定の参議院議員通常選挙での実施に向け準備を進める。